



大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985-86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット

仲よく 語ろう ローターリー

第 362 回 例会 60 年 9 月 12 日 第 368 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
55名	42名	79.25%	100%

欠席者(11名) 病欠(2名)

古郡 橋本 石渡 伊藤(欠) 金井 加藤
三浦 大西 辻 染矢 渡辺

本日のプログラム

9 月 19 日

沼田 暁氏(大和市国際青年の年推進協議会々長)
「国際青年の年に因んで」

次週予定

9 月 26 日

クラブフォーラム「青少年奉仕について」

司会 SAA 鈴木久次郎君

ソングリーダー 北砂富三君「紅葉」

《ビジター》

下村泰雄君 上西 峯君(東京町田)
北村 茂君(厚木) 斉藤舜也君(藤沢北)
宮崎良三君(横浜鶴峰) 野口栄三郎君(大和)
池田升雄君 酒井三郎君(横浜瀬谷)
岩瀬 至君 甲斐田 豊君(綾瀬)
屋代勝雄君 田村久雄君 吉原 昇君
川島教男君 開保津昭彦君 高橋則文君(大和田園)

《会長報告》 一 副会長代行 一

- ・ようやく残暑も一段落致しまして秋風がたってきたようでございますが、季節の変わりめでございますので充分健康にお気をつけ下さい。
- ・本日も上田会長がお休みでございますので私(富沢)が代行致しております。

- ・先週のガバナーの公式訪問は、皆様のご協力によりまして会長不在ではございましたが大変熱心にクラブ協議会等も行なわれありがとうございました。ガバナーからもお誉めの言葉をいただけたようで、心から御礼申し上げます。尚その晩に、当クラブの交換留学生服部裕子さんがオーストラリアでお世話になりましたウィルソンご夫妻の歓迎夕食会を雅翔で有志によりまして行ないました。大変有意義でご夫妻も喜んでお帰りになられましたことをご報告申し上げます。
- ・先週例会後、臨時理事会を開催致しまして、上田会長から出ておりました療養1ヶ月という診断書を受領し、病欠扱いとすることを承認致しました。しかしすでに退院はされておられまして思ったよりお元気なようですのでご安心下さい。

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：上田 利久
会長レク：藤田 重成
副会長：富沢 重徳
幹事：近藤 富士男
会報委員：松崎・種ヶ島・木村

《幹事報告》

- ・地区大会が来る28日29日に行なわれますが、当クラブは全員登録ということで登録済みです。本日より登録料の集金を致しますので事務局へご納入願います。1人6,000円です。
- ・クラブ活動計画書にございますように来る10月3日は一泊研修会を行ないます。案内状は本日皆様のお手もとに届いていると思います。

10月3日(木)午後6時現地集合

熱海「よろずや」 会費 13,000円

- 出欠票を回覧致しますので、なるべく多くの方の御参加をお願い致します。
- ・本日例会後、定例理事役員会を開催致しますので宜しくお願い致します。

《委員会報告》

社会奉仕委員会 委員長 古木勝治君

先々週、社会奉仕と青少年奉仕の合同で作製致しました「21世紀への子育て意識調査」のアンケートを本日までにご提出いただきようお願いしてありましたが恐らくお忘れの方が多くございます。出来るだけ早く集計したいと思いますので、よく読んで下さり早急に御提出下さい。

プログラム委員会 副委員長 有沢昭二君

計画書によります本日の卓話はシリーズⅣとして上田会長が「小児科の窓から」というお話をなさることになっておりましたが、病気でご欠席のため、急きょ寺田会員をお願い致しました。

ロータリー情報委員会 委員長 長谷川清一君
去る9日第1回炉辺会合を「たまも」に於いて開催致しました処、大変大勢の方が参加下さいましてありがとうございました。会場を提供下さいました山中さんにはいろいろご配慮をいただきありがとうございます。尚、大変恐縮ですが当日ご出席予定でご欠席なさいました方は料理等万端の用意を致してしまいましたので、当日の会費を御負担いただきたく宜しくお願い致します。

次回はもっと早い時間から、大いに飲み大いに語る会を催したいと思っておりますので宜しくご協力のほどお願い致します。

ゴルフ同好会 委員長 松本三郎君

来る10月3日(木)のクラブコンペは5組出来ました。どうも有難うございます。又一つお願いがございますが、アメリカのボーイスカウト主催のゴルフ会が来る10月10日に厚木基地ゴルフ場で行なわれます。8時30分スタートで会費は朝食、昼食を含んで21,000円だそうです。ご希望の方は私までお申し出下さい。

音楽同好会 委員長 中西 功君

第1回音楽同好会打合せ会を本日例会後に行ないたいと思っておりますので、ソングリーダー経験者の方々はお残り下さいますようお願い致します。

《お祝》 おめでとございます!

1年皆出席 小林 勇君

児玉 清君

木村誠二君

お誕生日 猪熊唯夫君 (9月12日)

古川 巖君 (9月17日)

御夫人お誕生日 近藤富士男君通子夫人(9月15日)

結婚記念日 松崎正実君 (9月15日)

創業記念日 熊倉光男君 (9月15日)

入会記念日 伊藤宣男君 (55年9月11日)

お誕生日1分間スピーチ

猪熊唯夫君：私は今年がちょうど支度ございまして満60才になりました。2～3日前に子供達が還暦祝をしてくれましたが、私の本当の還暦は昭和72年のつもりであります。どうぞ宜しく……

古川 巖君：お誕生日のお祝ありがとうございます。ロータリーに入会致しましてからは3年になります。私が3年トシをとった分、皆様もトシをとっておられますので、今だに3年もトシをとった感じがしていません。今後とも宜しく願い致します。

《卓話》 寺田伍六君

「姉妹クラブ東慶州RCを訪問しませんか」

今日は急に卓話を申し付かったものですから、四離滅裂な内容しか整いません。又口から出まかせに終始すると思いますが、皆様方の聡明なご思慮を以ってご判断下さるようお願い申し上げます。

さて本題は“我が姉妹クラブ東慶州ロータリークラブへ出かけませんか”という呼びかけにさせて頂きたいと思います。

そこで私が過去数回に亘って韓国に旅した思い出や、僅かばかりの知識を皆様方にはご存知の事とは思いますが、知ったか振りを致しますのでお許し下さい。

ご存知の通り日本列島における文化の源泉は朝鮮列島を通ってもたらされた遠い西域の伝来文明にあります。又それが今はやりのシルクロードへの遠い遠い道のりの旅という事です。文明の器は世紀前から永々として西から東へ、東へと運ばれて来た訳でございます。

当然の事ながら支那大陸と朝鮮半島を縦断して、やっとの思いで辿り着いた青銅器、鉄器、陶器そして農耕の智恵等、又、仏教儒教の伝来こそが未だに日本人の心底を形作っている物と私は考えております。

そこで、その遠い道のりを偲んでみます時すでに世紀前より始まった大陸へのわが遣使の派遣であり、又五世紀頃には完全な姿として整えられた遣唐使よっての国交と交流による文明の移入であったことは史実にも明らかになっている通りでございます。又、仏教の伝来には鑑ピン和上、空海伝教の渡航など、そのルーツをたどってみます時、私達の祖先が、文明の吸収に対しどれ程か強い熱意と死を通しての行為によって、日本の文化と国民性への定着した基盤づくりがなされたわけですから、私達日本人は深く感謝せねばならないと思っております。

思えば昔も今も同じですが、日本は大変良き国な

がら資源の無いことでは昔も今も変わりません。得ようとするものはすべて海の外です。それがどうでしょう。買え買えと各国から盛んにいわれます。考えてみれば有難くも不思議な日本国です。

少々脱線致しましたが、私達の心のルーツはシルクロードであり、又、仏教国日本はインドの「おしゃか」様の教えが中国、朝鮮を通して、日本の精神文明の基盤をなしたものと私は信じております。大昔のことですから今にして思えば西の文明が日本に辿り着くには気の遠くなるような日時を要したわけであります。中国の文明が日本に吸収されるには、大体200年の遅れを要したことも明らかな事実であります。

又、西域の文明がこの島国に到達するまでには、そのオリジナルは別として、その形にも変化が生じていることも確かであります。200年もの長い日時をかけて到達し、日本での身に育つわけですから当然の事と思います。

ちなみに如来様のお姿やお顔立ちを拝してみますとインド西域の如来様とタイ、ビルマ、そして中国 朝鮮 日本の如来様とそのお国によってみな変わっております。然しながら日本と韓国は変わりません。

それにしても信仰する精神は皆同じですから、お線香くさい事ばかり申すようですが、それであるからこそお釈迦様を信奉する国は永遠なのです。

さて又本題に劣りますが日本への伝来文化の取りつき国は当然のことながら唯今の韓国でありました。又、三、四、五世紀頃には任那という国があり、そこには日本府が置かれていて、日本の支配圏を総称する言葉となっていたそうであります（この国は今の釜山辺）

これにはそれなりの外交と政策があったようであります。その頃は南満州と北朝鮮を領有する高句麗の圧力を押さえ止める事が百済の目的だったようであり、日本軍の来援を度重ねて求めたわけであります。従って日本援軍が、百済軍と共に北の

守りに一役を買いそれを代償に先進百済文明を日本に持ち込む事がなされたわけでもあります。

こうして三世紀に亘る百済との協力関係も新羅、唐の連合軍に抗しきれず最後は幕切れの敗北となったのですが、その間数次に亘る高句麗新羅と三つ巴えの戦乱に日本援軍は百済に加え共に過ごしたのでありますから、今の韓国とのかゝわり合いの深さにも計りえないものがあるものと想像されます。

私は数年前、百済の首都公州とその遷都である扶餘に旅したことがあります。この百済最後の首都扶餘は、錦江の清流を背にした高さ130m強の山城であり誠に風光明媚そのものでございます。この城が日本援軍をも共にして遂に壮烈な落城を遂げた所縁の城であります。その時この城で起床した官女3000人が数十メートルの断崖から真下の錦江に身を投じた古事は韓国に於ける有名な史実であります。

私は日本人として如何にも悲憤やるせなき、この古城に立ち、たゞたゞ感無量のものでございました。然しながら、思います時、百済と日本は300年の長きに亘って最も信頼を深め合い大陸の文明を良く伝来して、仏教を以て共に立国したことは、今にして日本文が韓国を思い、韓国人が日本を思う相寄るものにつながっているような気が致してなりません。

そこでロータリー国際奉仕の舞台に移りますが、今秋こそは東慶州RCの連中と共にマツタケ狩りを楽しみたいし、又アイアン振りまわす芝かりでも大いに結構だと思えます。

奥さんを連れて行けば最高であります。女房殿は喜ぶし、東慶州の会員も本当に喜んでくれます。

我が大和中クラブと東慶州ロータリークラブが結縁の取り交わしを結んだのが何と早いもので1983年2月の旧正月のことですから2年半も経っております。その時は当クラブから芦田パスト

会長はじめ会長、幹事、国際奉仕委員長ともども18名のクラブ会員と地区国際奉仕委員長にも加わっていたゞき大勢の訪韓団が組織された次第です。同年5月の当クラブ5周年式典に際しましては先方クラブより鄭会長以下6名の会員の方々が5周年式典の御祝と姉妹クラブ締結の調印に来訪下さったわけであります。

そして1984年4月東慶州RC5周年記念式典参列のため、長谷川会長以下7名の訪韓団がお祝にあがって議礼を尽した次第であります。

新しい会員も増えられ結縁3年も経過しておりますので、何で東慶州RCと姉妹関係になったかをご存知ない方も多と思いますので、その辺のことを、当時私が書き残しておいたものを読ませていたゞきたいと思えます。

私は3年ほど前に伊藤英会員の奥様と、私の家内と3名で東慶州の地を訪れました。

犬も歩けば何んとやらと申しますが、犬ならず丁度といった私が韓国慶州に旅したのが57年6月でした。慶州にはロータリークラブが2クラブあり例会場、例会日など調べておきましたので東慶州ロータリークラブに出席しようと考えておりました。ところが折悪しく先方は地区協議会ホストのため休会となっております。そうとは知らず留守中の例会場に行き、言葉も状況も解らない私はマゴマゴしてしまったわけあります。夕刻、そのことを聞きつけたクラブ副会長の鄭さんが私をホテルに探し出し大変お気の毒なことでした。是非私の家に寄って下さいと招かれました。私は同行の家内と伊藤夫人共々遠慮なく鄭さんの御好意を受けることにしてお宅にあがらせて貰いました。

その夜は鄭さんの美しい奥様が笑顔で私達を迎えられ、おもてなし下され、鄭家のやさしいサービスと友情のうちに楽しい歓談の一夜をすごすことが出来ました。

私はこの時が2度目の慶州旅行でしたが、韓国

が国をあげて誇りとする古都慶州の素晴らしさは至る処に所在する遺跡が私の胸中に昔の良き世代を彷彿させ、日本の古代もその思いを馳せて悠久ななにかゞ現代まで秘かに残されていることで何んとも心慕われ、私の如き昔者にはこの慶州に旅することが心のふるさとに立つかの感に懐かしささえ覚えるのであります。

その夜の会話ではこのような素晴らしい古都慶州で東慶州ロータリアンと語り合えたことが、小生、生涯を通じ忘れ得ぬ思い出であり今後ともこれを機会に御厚誼を願いたいと述べ、当方大和は貴地とはその趣こそ違えど四圍に東京、横浜 古都鎌倉、日本の箱根など、何れも1時間足らずの交通の便利よさが何よりであることを説明して鄭先生が来日の際は、必らず我が大和をお訪ね下さるようお待ちすると御礼の気持を披瀝いたしました。

又、話がはずむうちに、クラブの結縁へも互いに研究しようなど、将来に友好の希望をつなげると共に、秋には奈良市への訪問があるのでその途時大和に寄らせてもらいたいなど鄭さんの来訪をも約し、大和での再会を楽しみにして別れました。

最後に皆様にお計りしたいのですが、マツタケの時期を逃しますと来年まで食べられません。そこで今月末～来月早々にでも出かけていきませんかロータリー親善の旅にロータリーの神髓を果たそうではありませんか。

◀スマイルボックス▶ 委員長 古川 巖君
上西 峯君（東京町田） お世話になります。
下村泰雄君（東京町田） 町田クラブよりいつもお邪魔します。
酒井三郎君（横浜瀬谷） 小島さんの友人です。
初めてお邪魔します。
池田升雄君（横浜瀬谷） またお世話になります。
宜しく！

齊藤舜也君（藤沢北） いつもお世話になります。
北村 茂君（厚木） お世話様になります。
甲斐田 豊君（綾瀬） お世話になります。
岩瀬 至君（綾瀬） 先週に引続きお世話になります。宜しく……。

野口栄三郎君（大和） 本日はお世話になります。
高橋則文君（大和田園） 本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

川島教男君（大和田園） 本日はお世話になります。
屋代勝雄君（大和田園） 本日はお世話になります。
吉原 昇君（大和田園） 本日はお世話になります。
田村久雄君（大和田園） 今日はお世話になります。宜しくお願い致します。

開保津昭彦（大和田園） 初めてお世話になります。今後とも宜しくお願い致します。

猪熊唯夫君 先日子供達が集って還暦祝をしてくれましたが私の本当の還暦は昭和72年です。まだまだ盛んです。宜しく

北砂富三君 歌は下手でも心で歌っている我がクラブの合唱団にブラボー

細野順三君 ホームクラブ長いこと欠席しまして申し訳ありません。

松本三郎君 お蔭様で10月3日のコンペ申込みが5組出来ました。あとは馬券でご協力お願い致します。

熊倉光男君 創業記念のお祝有難うございます。
児玉 清君 1年皆出席やっとなりました。有難うございました。

小林 勇君 どうか1年休まずに出席することが出来ました。今年も頑張ります。

木村誠二君 入会当初は一年というのが長いように思いましたが、アッというまに過ぎました。きっと大和中クラブが楽しいからだと思います。
後藤定毅君 先週のウィルソンご夫妻歓迎夕食会に忙しい中を多数ご出席いただきありがとうございます。御本人も大変喜んで帰られましたので皆様にお伝えします。

第3回 クラブ協議会(続報)

スマイルボックス委員会

スマイルは絶対強制は本来いけない事です。これはクラブの問題ですので私は集め方云々は言いません。しかし苦しくなってくる場合があります。スマイルを決めることによって苦痛、負担を感じてくる場合も考えられます。スマイルはその人の善意で集めるべきです。集め方としては、例えば

- ①一週間の中で必ず何かいい事があります。自分でいい事をしようと努力すれば喜び事は必ず一つはあります。大きな事だけを狙っているならチャンスは少ない。しかし、小さな事なら必ずあります。その喜びを皆さんに知ってもらおう、分かち合おうというのがロータリーです。そうすればスマイルというのは出しやすくなります。
- ②ある人の自分からは言いにくい喜び事を、周りのそれを知っている人達がしてあげる事で本人もはじめて気持ちよく出せることとなります。これがロータリーの友情であり、スマイルボックスの有効な活用であろうと思います。

S.A.A.

メイクアップの問題ですが、どうしても時間の予定があって、最初から申し出がありやむおえず退席される方に対しては卓話者の紹介がある前にS.A.Aが指示してあげて速やかにお帰り願うようにします。クラブ会員については卓話者に対して非常に失礼になるので極力早退させぬよう、出来ぬような方法を考え実行しているクラブもあります。これを徹底しますと早退しようとする人は自然と来なくなります。そういう方は他でメイクアップしよう、それも事前に行なうようになります。例会に来た以上は卓話者が話そうかとして紹介が始まったとたんにパラパラ、パラパラと席を立つような卓話者に対して失礼な事をしないように。しかも、外部から呼んでおいて、これ程失礼なことはありません。

「何だ！ロータリアンというのは」「何だ！このクラブは」というふうに不愉快感を与えないためにも、途中で帰る人は来ないでもらいたい。そのかわり事前にメイクアップをしといてくれと…。

職業分類・会員選考・会員増強・各委員会

当クラブの場合は昨年度の累進が激しかった訳ですが、一昨年49名が45名になり55名になったという経緯をたどっております。

ロータリーの場合単年度ですので、単年度で何名増強しようとする場合も一つでしょうが、もう少し大きく考えてもいいのではないのでしょうか。例えば、80名会員のクラブを目標として決意し、それを除々に増強しつつ結果として80名にもって行くという方法で、今年は何名増強したという結果になってもよいのではないのでしょうか。このように目標を定めることにより、クラブの意欲が沸くと思います。よく25名のクラブの時の考え方と、50名のクラブになった時の考え方と、100名のクラブでは考え方が変わってきます。そういうように100名クラブになると親睦が思うようにいかないといいますが、とんでもないことです。親睦はやり方、工夫次第なのです。

当クラブの力をもってするなら何名の会員にしたら、どんなに素晴らしいだろうということも、もし皆さんがお考えならばそういう目標を掲げて、それに向って進むのだということは一つの意欲になります。そういった事をお考えになったらいかがと提案申し上げます。

国際奉仕委員会

国際奉仕に関しましては当クラブは非常にご熱心におやりになっているということはよく存じ上げております。青少年交換につきましても、素晴らしい業績を上げられ、しかも交換留学生に恵まれているということも言えるのではないのでしょうか。そして青少年交換というのは有意義だと感じ頂けた訳ですが、あるクラブでは困りはてた留学生のため二度とやらないといった苦い経験を積んだ

クラブもあります。姉妹クラブの拡大につきまして日韓の間では相当数のクラブが行なっております。おそらく当地区は27ある地区のうち1位か2位だろうと思います。

先日、韓日親善会議がソウルで行なわれまして、その席上で韓国側からの提案でしたが、「もう私どもは日本から援助を頂くようなものは一切ございません。これから私達がやっていく問題は地区対地区の間で国際共同委員会というものを作りまして、むしろもっと恵まれないアセアン諸国の中のプロジェクトに対して我々は力を合わせて行く必要があるのではないかと思います。日本の皆さんいかがでしょうか。」という提案があったのです。日本から提案しますとむしろ反撥があったかもしれないかもしれませんが、向う側からの提案であったのでよかったと思いますが、やはりこれからは日韓関係の問題は油断が出来ません。

これから日韓関係を考えていくにあたり、単なるお付き合いの域を除々に脱していかなければならないのではないかと。韓国側の提案にあったように我々が力を出してそれぞれ尽せる範囲で供出し合って恵まれない国々に対して2つのクラブが汗水垂らし、お金を出して、こういうことをして喜ばれたと。その喜びを分かち合ったということの方が私は日韓親善と両クラブとの関係というものを密接にしていくのではないかと思います。

ロータリー財団委員会

当クラブは大変な御成績を上げて頂いております。昨年度の場合には83ドル48セントというご寄附を賜りまして、津田直前ガバナーになりかわりまして厚く御礼申し上げる次第でございますが、私になりかわって次の小林ガバナーが同じようにお礼を申し上げることが出来ますようにぜひ御活躍賜らんことを期待するものでございます。

たまたま今年度は向笠元R I会長が財団管理委員長でございます。向笠氏にしてみれば日本のロータリアンの人達が自分が管理委員長をやっている

時にどうやって協力してくれるのかということ、彼がR I会長をやった時に二つきりしか日本に頼むことはないと言ってまして、その一つは増強拡大をやって下さい。もう一つはロータリー財団に対してどうか御援助頂きたいと。この二つ以外はありませんと言ってました。

米山記念奨学委員会

昭和60年の奨学生が365人です。日本のロータリアンの数が約95,000人としますと260人のロータリアンで1人の奨学生を面倒みているという計算になります。当地区の場合、160人で1人の奨学生をみていることになり、27地区中6位ということになります。

米山奨学生は非常に素晴らしい方がおります。ただつくづく我々は、我々の子供達は幸せだと思います。台湾にしても、韓国にしても兵役を全部終えた上でなければ国外に出ることは許されません。従って奨学生をみますと30才前後です。年を取った人は34~5才という方はざらにいます。家族を国に残しながらだから大変な訳で、そして優秀なのです。女子は兵役がないので若い人もおります。

米山功労者についてですが、これはチャンスです。従って会長や幹事になったという時にポールハリスフェローになろうとか、米山功労者になろうとか、というワンチャンスなのです。これも一つの方法でしょう。

よくクラブでボックスを置いてある所があります。ロータリー財団ボックス、米山ボックス、スマイルボックスと置いて、私がおのクラブに行きますとスマイルより財団か米山へ入れて下さいと言われて、そういうように日常おやりになって累積している所もあります。ようするに功労者だ、フェローだということは無関係にされている訳です。いろんな集め方がありますが、無尽方式だけは関心しません。何かを記念して、そういう時におやりになるのがいいのではないのでしょうか。

(時間の都合で急ぎますが誤解のないよう)
御注意下さいますようお願い致します。

職業奉仕委員会

「職業奉仕とはロータリアン個人の又は職業を行なっていくうえでの良心の問題という狭い領域のものではなく、ロータリアンではない人達とロータリーの奉仕の理想を分かち合うことであります。」大変難かしい問題です。解かりにくいですね。

たとえば、医者が医者として患者をみて最善を尽すのは医者としての職業上の勤めであります。しかし、いかにその患者の不安感を取り除いてやりそして医者に対する信頼というものを取り戻してこの医者ならば手術をしてもらってもいいという、生きるという希望というものを患者に与えたということがあったとするならば、その医者はロータリアンでないとしてもロータリーの心を本当に知っている医者ではないかと私は思います。そういったものが職業奉仕なんだろう。相手に対する思いやりというものが、本来そうあるべきものなんだろう。

社会奉仕委員会

R Iで高齢者問題を正式に取り上げましてR I 高齢者問題委員会というのが出来たようです。委員長にジョージ・ユリック氏がなり、委員が6名、その中に直前理事の菅野多利雄氏(塩釜RC)が日本だけでなくアセアンを含めた諸国の代表者として加われることになりました。この問題については真剣に取り上げますということが理事会で決定されております。そして、次の小林ガバナーノミニーが国際協議会に参ります時に、地区の高齢者対策問題について全部整理をして持って行き、それに対する地区としての考え方があるのなら持って来て、お互いに討論し合うということで来年度は正式にこの問題が取り上げられるということが決っております。

青少年奉仕委員会

21世紀を確実にしよって立つものは現在の青少年です。この育成をどのように健全にやっていくかということについて青少年奉仕は重大な事です。これは米山や財団にも影響があります。財団の場合には1名+18名を送り出すことが可能となりました。従来は7~8名だけでしたのが19名となりました。この権利が何時まで継続できるかということですが、これが地区に定着してまいりますと当地区は財団世界一位ですからこういった慣習といえますか、良き伝統というものが継承されるならば19名とか20名とかを毎年送ってやる事が出来ることとなります。そういったことは21世紀を担う青年に対する大いなる貢献に繋がることになると思います。

富沢副会長挨拶

長時間に渡りまして非常に適切ないろいろな御指示を細部に渡りまして、非常に具体的に頂きましたことを心から御礼申し上げます。

残念なのは上田会長がどうしても今日病気のために御欠席というアクシデントがございましたが皆様方の御協力によりまして恙無く、だいたい時間通りにクラブ協議会を終了することが出来ましたことを心から御礼申し上げ、第3回クラブ協議会を終了致します。ありがとうございました。



『絵ではない本物のマツタケ
を東慶州でいかがですか』